



卓球大会（士別市）

こざくら

NO.69 2012・1



南富良野神社祭典

▽国内では節電・省エネ・エコの話題が数多く取り上げられています。

こざくら園でも害虫対策の一環で外灯の消灯や公用車のアイドリングストップ、清掃用品の効率的な使用等、気付いた事から小まめに取り組んでいます。勿論、ご利用者の生活に関わる点は快適な環境を保つてのエコ活動です。寒い時期のエコ・省エネ情報がありましたら是非お知らせいただければ幸いと思います。

▽今年の夏も日中活動と並行して、各種行事をご家族皆様のご協力をいただき予定通りに実施する事が出来ました。

園舎の老朽化に伴う改修とご利用者の居室の準個室化を目的とした工事が十一月から本格的に始まり慌ただしい日々が続いています。二月末には改修工事が終る予定です。装い新たなこざくら園での生活に向けて準備を進めていきます。

▽今年の漢字は「絆」と発表されました。東日本大震災が発生して早十ヶ月の時が過ぎました。発生当時は、「これから日本はどうなってしまうのかと不安を感じましたが、「絆」という言葉どおり、ボランティア派遣や救援物資の対応等、国民一人ひとりの気持ちが早い復興に繋がっているのではないかと感じています。

こざくら園でもご利用者・ご家族・職員の間にある「絆」を大切にし、日々の支援を行っていきます。

皆様は漢字に置き換えると、どんな一字でしたか？

こざくら園は次年度に向けての「溜」（力を溜める）や「改」（改修、改善）だつたと思します。きっと来年は「個」（個室）「新」（新体系）と安易に予想しましたが・・・「幸」になれる年に、スタッフ一丸となり頑張ります。

（志戸田）

第三十回 大乗会ふれあいフェスタ

希望の軌跡 ～共に歩んだ三十年～

野外バイキング

(こさくら園家族の会と共催事業)

例年開催している「ふれあい合同園祭」を「ふれあいフェスタ」と名称を改め、九月三日に「みなくる」で開催しました。

前日は、各地で大雨と台風の警報が発令され天候をとても心配しましたが、当日の朝には雨も上がり晴天までとはいからずとも心地よい秋風が吹く中、無事開催することが出来ました。

演芸は、上富良野駐屯地曹友会の吹奏楽演奏、幾寅保育所児童によるお遊戯などの発表

とご利用者によるハンドベル演奏やダンス等を披露し、ステージ上では日頃の練習の成果を充分に發揮していました。

また、記念すべき三十回目の開催で、豪華賞品が当たる抽選会や三十にちなみ焼き鳥一本三十円の特別価格とするなど模擬店も大いに盛り上がっていました。

次回は新事業体系に移行する中で施設形態が若干変わります。行事の開催頻度については今まで通り開催する事は難しいかもしれません。が、可能な限り沢山の施設行事を企画し、ご利用者の笑顔に満ちたこぞくら園になるよう職員一同協力して頑張っていきます。ご家族の皆様には、より一層のご協力をお願いするかと思いますが、宜しくお願い致します。

(安彦)



ご利用者からは、「たくさんのお手伝いが面倒だった」「ボランティアさんと一緒に祭りを見ることが出来て楽しかった」などの声も聞かれました。

ご家族の皆様にはボランティア等、多大なご協力をいただきありがとうございました。来年度も色々なアイデアをご利用者「虹の会」と話し合い、より楽しい時間を過ごせるイベントにしていきます。

(井本)



幾寅小学校児童来園

「学芸会の招待を受けました」

十月二十四日（月）三十日の学芸会本番を前に、

幾寅小学校児童会々長の下家君、副会長の北谷君の二名がこざくら園を訪れ、学芸会観覧の招待状を虹の会役員の渡邊さん牛木さんへ手渡されました。

児童は少し緊張気味でしたが、元気に「皆さんで幾寅小学校の学芸会を見に来てください。」と挨拶され、虹の会からも「わざわざありがとうございます。是非見学に行きます。」とお礼を述べていました。

地域の方を招いての公開は二十六日（水）に開催され、見学しました。時間の都合で低学年の発表のみの見学でしたが、児童の皆さん一生懸命練習してきた成果を見ることができました。見学に行つたご利用者のみなさんは「楽しかった」、「可愛かったね」との感想が聞かれました。

児童の皆さん、楽しいひと時をありがとうございました。

（下家）



利用者に招待状が渡されました



小学校の代表児童来園

います。

後期も早や三ヶ月を経過し、残りの期間でメンバーがどのような成長をみせてもらえるのか、期待しています。

（吉田）

前期も終わり、後期から新たなメンバーで自活訓練を行う事となりました。

男性の自活訓練棟「リーフ」は、植地香さん、柴口清一さん、杉本親弘さん、横田清一さんの四名です。

女性の自活訓練棟「ヴィズ」は、坂本千晶さん、渡辺真由美さんの二名です。

自活訓練事業 ～後期の取り組みについて～

自活訓練事業の内容は次のとおりです。

普段はこざくら園で生活していますが、自活訓練棟が主な生活の場となり、始めは少々緊張気味の面持ちでしたが世話人さんのご協力もあり、皆さんは徐々に慣れ始め今では笑顔が絶えないホームとなっています。

自活訓練事業の内容は次のとおりです。

・リーフ

①火災を想定した避難訓練（十一月十五日）

初めての訓練で戸惑っていたメンバーもいましたが、皆で協力し合い緊張感のある訓練となりました。

・ヴィズ

①火災を想定した避難訓練（十一月二十六日）

からまつ園との連携が試された訓練でしたが、メンバーの協力もあり円滑に進めることができました。

②料理教室（十一月二十五日）

役割分担を決めて、一人ひとりが責任を持つて作っている姿が印象的でした。

③帯広方面外出（十一月九日）

買い物のコースや金額を自分達で決めることに苦戦していたようです。

自活訓練の様子

男性ホーム「リーフ」



消火・避難訓練



食事風景

女性ホーム「ヴィズ」



買い物外出



調理実習

行事報告 ~8月から12月~

8月



料理教室



福祉スポーツ大会

9月

第30回ふれあいフェスタ (みなくる)	3日
天童よしみコンサート (帯広市)	8日
野外バイキング (園前庭)	10日
南富良野神社祭典	17日
リーフ外出 (富良野市)	20日
8・9月誕生会 (りとる)	21日
ウィズ外出 (富良野市)	26日



帯広外出



南富良野神社祭典



リーフ外出



合同避難訓練



スポーツ交流会

10月

栄町食の祭典	2日
チャリティー寄席 (みなくる)	3日
スポーツ交流会 (旭川市)	5日
秋季合同避難訓練	11日
道北地区別懇談会 (旭川市)	15日
町外ショッピング (帯広市)	19・24日
卓球大会 (士別市)	20日
10月誕生会	25日
幾寅小学校学芸会観覧	26日

11月

町外ショッピング（帯広市）	8日
11・12月誕生会	22日
地震想定避難訓練	25日
道央地区別懇談会（札幌市）	26日
すずらんの会（旭川市）	27日



12月

障がい者週間記念事業 1日支援員	6日
ウィズ外出（帯広市）	9日
職場実習者慰労会（町内食堂）	13日
クリスマス会	16日



皆で作り上げた新しいスタイルのクリスマス会、来年はどのような装飾になるか楽しみです。

(大井)

今までの会場に比べると食堂では少し狭くも感じましたが、お互いの距離が近く肩を寄せ合う楽しい一時を共有できたのではないかと感じました。

クリスマス会は例年に負けない豪華な食事を堪能していましたが、それ以上に飾りやイルミネーションに魅入っている方も見受けられました。

例年、「みなくる」で行われていたクリスマス会を今年は十二月十六日に園内で開催しました。障がい者週間が終わるとご利用者・職員が一緒になって、園内にツリーの飾り付け、正面玄関のデコレーションを行いました。

食堂には新たに一色のLEDライトが織り成すイルミネーションを設置するなどクリスマスムードを演出し、夜には幻想的な雰囲気となりました。

クリスマス会 ～12.16 こざくら園食堂～

会食風景

☆今年も思い出に残るクリスマスになりました☆

委員会活動の紹介

「食事提供委員会」



「食」は元気のキホン！！
おいしい環境で
おいしいご飯を

食事提供委員会は昨年度より活動を開始し、「ご利用者の皆さんに提供する食事の内容や、食事環境等について話し合いを行っています。食事内容の見直しについては職員からの意見のみならず、ご利用者からの意見等を委員会で話し合っています。検討内容は厨房委託業者との食事サービス会議に提案させてもらっています。食事環境の主な見直しについては、テーブルクロスを使用することで視覚的に明るい雰囲気作りに努めたり、夏場の暑さや食中毒対策としてのエアコン設置、改修工事に併せてカウンターの入替などの改善を図っています。

まだまだ解決すべき課題はありますが、「ご利用者の皆さんのご協力を得ながら今後もよりよい食事環境作りに努めていきます。

(大浦)

障がい者週間記念事業

「一日支援員体験」

十一月三日～九日までの期間は「障がい者週間」で、全国各地で様々な啓蒙活動が行われていました。



当法人においては、障がい者施設で六日に「一日支援員」を企画し、鷹嘴理事長から一日支援員の辞令を渡され実施しました。

本年は日頃より、実習先やボランティア等の協力を頂いております南富良野町の企業・町婦人会にご依頼しました。からまつ園・こざくら園・なんぶう香房の三箇所を視察し、からまつ園でクリスマス会用の飾りやクリスマスカードをご利用者と一緒に作っていただきました。「ご利用者は接する機会が少ないので、最初は緊張している様子も見受けられましたが、お二人が積極的に話しかけていた事で、気付いた頃には自然と笑いや笑顔が見られる有意義なひと時となりました。

(沖)

1日支援員のご紹介

南富良野町幾寅婦人連絡協議会
会長 須藤 良志恵 氏
専務取締役 中村 優子 氏
㈱南富自動車サービスエリア

編集後記

四年前より職場の仲間と共に富良野市で開催されているフットサル（室内サッカー）リーグに参加しています。チームメイトはサッカー経験者から未経験者まで様々なメンバーで構成されており、リーグ初参戦の四年前は四部リーグで優勝。しかし、その後は上に上がるにつれ勝利が遠退いていますが一人ひとりが楽しんでプレーしています。今年は一部Bリーグに登録し、現在リーグ一位。残り一試合を勝てば勝ち点差で優勝です。

毎週とまではいきませんが週末に町民体育馆で練習に励んでいます。自分は年齢的に体力が衰え、試合は若手職員を中心に頑張つてもらっています。息子に「父さんカッコいい」と言つてもうかるまでサッカーを続けたいと思つてますので、体と相談しながら無理しない程度に頑張ろうかなと思つてます。

(大浦)

新しい生活の場へ。。。
胡 晴子 氏(平成元年 入所)

7月11日に体調を崩し、9月9日こざくら園を退所しました。現在は特別養護老人ホーム「ふくしあ」に入居されています。

初めは慣れない環境にあることから寂しそうにしていましたが、職員が顔を見せることで「ふくしあ」のみなさんとも楽しく生活されています。(日下)